

目標達成計画

事業所名 グループホーム 鳴門

作成日: 平成 30 年 6 月 25 日

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症の進行や食欲の低下、食事への興味が薄れているなどの理由により、食事や水分摂取を嫌がられたり、残されたりと、十分に食事や水分の摂取ができていない場合がある。個々の状態に合わせながら、一日に必要な食事や水分が確保できるように支援できることがあるのではないだろうか。	食事や水分の摂取に対して負担を感じることなく、食べる意欲を高め、楽しく、必要な栄養や水分を確保することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様と同時に職員も食事を始めることができるようにし、ムセに気をつけながら会話を適度に行う。 ・食事への関心が薄れている方には、個々に献立名や味を伝えたり、「おいしいよ」など、食欲を感じるような声かけを行ってみる。また、食器やお箸を手渡しして食事を勧めてみる。 ・キザミ食の方は刻んだ後も見栄え良く盛り付けるよう気をつける。 ・レクリエーションや体操、散歩など、適度な活動性を持って過ごすことで空腹を感じ、食欲が湧くように援助を行う。 ・ホットプレートなどを使用し、全員が集まって食事やおやつを作る機会を設け、食事への関心を高め、楽しむことができるようにする。 ・食事の拒否があり、どうしても食べられない時は食べたいものを購入するなど対応し、補食を行う。 	6ヶ月
2					
3					
4					
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。